

帝京大学八王子校舎運動部活動安全安心マニュアル
(改訂版)

目次

1. 目的
2. 適用範囲
3. リスクの定義
4. 体制
5. 平常時の対応
6. 事故発生後の対応
7. ハラスメント防止
8. 本マニュアルの閲覧環境の整備
9. 本マニュアルの改廃
10. その他

帝京大学八王子校舎運動部活動安全安心マニュアル

1. 目的

「帝京大学八王子校舎運動部活動安全安心マニュアル」（以下、「本マニュアル」という。）は、「学校法人帝京大学八王子校舎危機管理対応基本マニュアル」（以下、「八王子マニュアル」という。）第1部第5条に基づき、帝京大学（以下、本学という。）八王子校舎運動部の安全安心を実現することを目的として制定する。

2. 適用範囲

本マニュアルは、本学八王子校舎学友会が認めた運動部に関係する者の、運動部管理下における活動に適用する。

3. リスクの定義

本マニュアルでは、リスクを八王子マニュアルに準じて、「経済的損失や人々の被る苦痛をも含む損失、あるいは組織がその目標を達成することを妨げる恐れのある事象の存在的可能性」（八王子マニュアル第1部第2条・第3条）と定義し、以下の各事項を運動部の安全安心に影響する恐れのあるリスクとして想定する。

- (ア) 自然災害
- (イ) 健康危機
- (ウ) 重大事故
- (エ) 重大事件
- (オ) その他

4. 体制

運動部活動の安全確保に万全を期すために、本学に以下の者を置く。

1) スポーツ局リスク管理担当者

スポーツ局リスク管理担当者（以下、「リスク担当者」という。）は、運動部活動における諸リスクに総合的に対応する。リスク担当者は1名とし、スポーツ局局长がこれを任命する。

2) 事故対応責任者

各運動部に、活動中に発生した事故に対応するための責任者として事故対応責任者（以下、「対応責任者」という。）を置く。原則として、各運動部指導者を対応責任者とするが、学生が担当する場合は、これをスポーツ局に報告する。

3) 事故対応担当者

対応責任者の不在中に事故等が発生した際に、適切な事故対応を行えるように、各運動部に運動部事故対応担当者（以下、「対応担当者」という。）を置く。原則として、主将など部員を代表する者を対応担当者とし、毎年、学生支援室が開催するクラブ員研修に参加をしなければならない。

5. 平常時の対応

事前の事故防止活動として以下の対応を実施する。

1) リスクの洗い出し

各運動部の対応担当者は、資料1「スポーツ活動中のリスク」を基にリスクの洗い出しを行う。
スポーツ局は運動部評価の面談時に運用状況を確認する。

2) 施設等の点検・改善

八王子キャンパス総務・企画課は、資料2「建物見回り実施簿」を用いて施設等を点検し、改善の必要な施設等を特定し、リスク担当者に毎年1回報告する。

3) 施設等の改善要望への対応

運動部の学生や指導者は、施設・設備・用具の破損、危険性を発見した場合には、資料3「施設等不備報告書」を用いてその状況をリスク担当者に報告し、改善要望を行う。リスク担当者は、学生支援室を通じて八王子キャンパス総務・企画課に「施設等不備報告書」を報告し、その対応を依頼する。

4) 保険加入

リスク担当者は、毎年5月、各運動部の学生及び指導者の保険加入状況を確認するとともに、運動部に必要な保険への加入を推奨する。

5) 研修実施

- 1) スポーツ局は、運動部が安全安心な活動を行うため、八王子キャンパス事務部と協力して研修を定期的に開催する。
- 2) 各運動部の代表学生並びに監督および顧問は、対象となる研修に参加しなければならない。
- 3) 運動部は、対象者が研修会に参加できない場合、代理を選定し、研修会に参加させる。代理者は研修内容を運動部内で共有する。

6. 事故発生後の対応

運動部の活動中に怪我人が発生した場合、対応責任者及び対応担当者が中心となり（対応責任者及び対応担当者が、怪我人が発生した現場にいない場合には、現場にいる者で協力して）、怪我のレベルに応じて以下の初動対応を行う。緊急時の対応については各活動場所の緊急時対応マニュアル（図2）に沿っておこなう。

怪我人発生

怪我人の状態確認
(怪我人の状態確認は、最悪を想定したうえで対応を行う。)

レベル1	レベル2	レベル3
- 歩行可能 - 擦り傷や捻挫など - 意識もしっかりしている	- 歩けない - 骨折の疑い 頭、首を受傷した	- 普段通りの呼吸なし - 意識・反応がない - 手足が動かない - 大量出血
応急手当	手当・処置	119番通報
競技復帰が可能かの判断	スポーツ医科学クリニックへ 連絡・準備	緊急手当て(AED,止血等)
	スポーツ局への報告	スポーツ局への報告

図1：怪我のレベルに応じた初動対応の実施（参考：大学向け-UNIVAS-SSC-評価項目・雛型集_240903版）

帝京大学八王子キャンパス 陸上競技場

緊急時対応!!

・普段通りの呼吸なし・意識・反応がない・様子がおかしい・大量出血

119番通報

【119番 救急要請時に伝えること】 ※相手が電話を切るまで、こちらは電話を切らずに待つ

- 「救急です」
- 住所：「東京都多摩市和田1361-1」です。
- 救急の状況（例：人が一人倒れています）
- 患者の現在の状態と施されている措置（例：意識がありません）
- 患者のいる正確な場所「帝京大学陸上競技場です。帝京北通り沿い、陸上競技場駐車場入口から入って、坂を下った所にあるテニスコートです。」

AEDの手配

AED設置場所と緊急搬送経路

緊急連絡先
119番をしたら→中央管理室 042-678-3210（緊急要請をしたことを連絡）
119番をしたら→救急センター 042-678-3319（救急センターが到着したとき）
・スポーツ医科学クリニック 042-678-3333
（医師・看護師への連絡 平日：8時45分～12時30分/14時～16時30分 土：不定期）
・学内診療所 042-678-3319（看護師への連絡 平日：8時45分～17時 土：8時45分～12時30分）
・救急安心センター #7119（クリニック・診療所が時間外の場合）
・学生サポートセンター042-678-3643・3309（職員に状況報告）

帝京大学 スポーツ局 (042-678-3403)

作成日 2022/12/5

帝京大学八王子キャンパス 陸上競技場

緊急時対応!!

AEDが到着するまで、急病人に反応がなく、普段の呼吸がなければ、
すぐに胸骨圧迫（心臓マッサージ）を開始する

圧迫する位置 胸の真ん中、胸骨の下半分 圧迫の方法 強く、速く、絶えなく圧迫

手（手のひら）の基部で強く押す 約5cmの深さで圧迫 真上から、1分間に100～120回以上の速さで力強く！ 肘を伸ばしてしっかり体重をかけてすぐにゆるめる

AEDが到着するまで、胸骨圧迫を繰り返す。

AED到着

- ①AEDの電源を入れます
音声の指示が始まります
「パッドを装着してください」
- ②電極パッドを素肌に直接貼ります
2枚に分かれているパッド 一体型のパッド
（公財）日本AED財団「命を守る」心臓マッサージ AED財団より提供

AEDが自動的に解析へ戻る（約2分後） 心電図解析 AEDが自動的に解析へ戻る（約2分後）

電気ショック実行 ショック後は胸骨圧迫再開 必要あり 必要なし 胸骨圧迫再開

緊急連絡先
119番をしたら→中央管理室 042-678-3210（緊急要請をしたことを連絡）
119番をしたら→救急センター 042-678-3319（救急センターが到着したとき）
・スポーツ医科学クリニック 042-678-3333
（医師・看護師への連絡 平日：8時45分～12時30分/14時～16時30分 土：不定期）
・学内診療所 042-678-3319（看護師への連絡 平日：8時45分～17時 土：8時45分～12時30分）
・救急安心センター #7119（クリニック・診療所が時間外の場合）
・学生サポートセンター042-678-3643・3309（職員に状況報告）

帝京大学 スポーツ局 (042-678-3403)

作成日 2022/12/5

図2 緊急時対応マニュアル（陸上競技場）

1) 事故情報の報告

対応責任者（対応責任者がいない場合には、怪我人が発生した現場にいる者）は、レベル 2、3 と判断した場合には、怪我人の身体の安全確保（手当・処置、医療機関への連絡、119 番通報等）を行った後、資料 4「事故発生報告書」を用いて速やかにリスク担当者に状況を報告する。

2) 事後対応

リスク担当者は、危機の状況を把握したのち、スポーツ局局長および事務局長に報告する。

3) 危機発生報告書の保管

提出された危機発生報告書は、スポーツ局で 5 年間保管する。

4) 再発防止策

対応責任者は、レベル 2 および 3 の事故発生時には事故発生報告書に考えられる原因及び再発防止策を記載する。

5) 情報共有

- 事故発生 of 内部共有

リスク担当者は、事故発生報告書を学生支援課と共有する。

- 事故発生統計情報の共有

リスク担当者は、提出された事故発生報告書の内容を年 1 回集計し、運動部連絡協議会で集計結果を報告する。

7. ハラスメント防止

ハラスメントの防止活動として以下の対応を実施する。

1) リスク担当者は、毎年、八王子キャンパスが開催するクラブ員研修に各運動部学生代表者並びに指導者および顧問に受講を促す。

2) 本学が開催するクラブ員研修に参加できないもしくは研修が開催されない場合には、UNIVAS が開催する、ハラスメントに関するコンプライアンス研修のアーカイブ動画を当該対象者が動画視聴できるよう措置する。

8. 本マニュアルの閲覧環境の整備

リスク担当者は、運動部活動に関わる全ての者が本マニュアルをいつでも閲覧できるよう、本学スポーツ局 HP 上に本マニュアルの最新版を掲載する。

帝京大学スポーツ局 HP 運動部支援：<https://www.teikyo.jp/sports/support/club-support/>

9. 本マニュアルの改定

本マニュアルの改定については、必要に応じてスポーツ局局長が改定する。

10. その他

本マニュアルに記載のない事項については、本学の規程および八王子マニュアルに従う。

制定・改廃履歴

2022 年 3 月 10 日制定

2025 年 4 月 17 日改訂